

製品名: LRP6 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM82170

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	180kDa

抗原情報

遺伝子名	LRP6
別名	ADCAD2; STHAG7
遺伝子 ID	4040.0
SwissProt ID	O75581
免疫原	大腸菌で発現したヒト LRP6 の精製された組み換え断片 (AA: 追加 1198-1370)。

背景

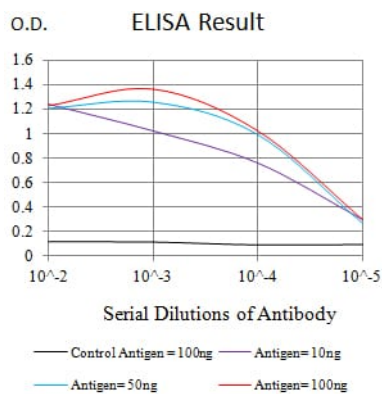
この遺伝子は、低密度リポタンパク質 (LDL) 受容体遺伝子ファミリーのメンバーをコードします。LDL 受容体は、リポタンパク質およびタンパク質リガンドの受容体を介したエンドサイトーシスに関与する膜貫通型細胞表面タンパク質です。この遺伝子によって

コードされるタンパク質は、Wnt の受容体として、あるいは Frizzled と共受容体として機能し、それによって標準的な Wnt/ β -カテニンシグナル伝達カスケードを伝達します。この遺伝子は、Wnt/ β -カテニンシグナル伝達カスケードとの相互作用を通じて、細胞の分化、増殖、遊走、そして多くの種類の癌の発生の制御に関与しています。このタンパク質は γ -セクレターゼ依存性 RIP (制御膜内タンパク質分解) 処理を受けますが、切断部位の正確な位置は未だ解明されていません。

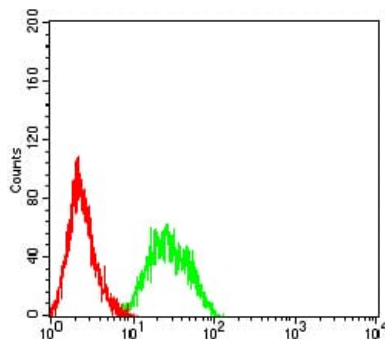
研究分野

Wnt シグナル伝達経路

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



LRP6 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。